

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 好日苑 徳力の郷

作成日: 令和 3 年 3 月 29 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議のメンバーが固定化し会議の内容も報告が中心になっているので、会議の参加委員を増員し、運営推進会議が有意義な会議になるように取り組んでいく。	コロナ収束後には、薬剤師、市民センター館長、複数の民生委員、他グループホームの管理者、元家族等に幅広く参加してもらい、会議がホームの運営だけではなく、地域の問題解決に向けて取り組める、魅力的な会議を目指していく。	12ヶ月
2	37	災害対策	年2回昼夜想定避難訓練を実施しているが、各ユニットの夜勤者が非常時に、冷静で迅速に利用者を安全な場所に避難誘導できる体制を築いていく。	利用者を巻き込まず、職員が利用者役になってベッドに横になり、夜勤者が9人の利用者を一時避難場所に短時間で誘導できるよう、繰り返し訓練を行い、体で覚えていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。